

入隊・入校前の準備事項



入隊・入校を控えた皆さまへ

各種試験を受験し、みごと採用予定者となられた方々にとっては、4月が、あらかじめ確認しておかなければ記入できないことでもありますので、不安で胸がいっぱいなのではないかと思えます。また、ご家族の皆様におかれましてはお子様が入隊・入校後の自衛隊の教育についていけるのか心配に思うこともあるでしょう。

そこで今月号では「入隊・入校までの準備事項」として、入隊・入校前に準備しなければいけないことを4点紹介いたします。



試験に合格し、採用予定者となった方々には、入隊・入校する部隊・学校から「入隊（入校）案内」が届きますので、それをよく読んで準備を進めていただきたいと思います。



第1に、着隊・着校時に提出する書類についてです。提出書類には、同封された用紙に自ら記入するものと、役所等で申請して入手しなければいけないものがあります。本人が記入するものについては記入例に従っ

第2に、隊内・校内生活に必要な物品についてです。生活用品は、隊内で購入できるものもありますが、あらかじめそろえておくことをお勧めします。ただし、収納スペースには限りがありますので、記載された数量を留意していただき、入隊・入校後、生活をしていくにつれて新たに必要となったら、その分を補充していただければ良いと思います。

第3に、入隊・入校までの過ごし方です。自衛隊での生活は、朝6時に起床し、夜10時に就寝するという

第4に、健康・体力管理についてです。皆さんの中にはウィンタースポーツのシーズンでもあり自衛隊に入るまでスキーやスノーボード等を楽しまれる方もおられると思いますが、くれぐれもケガをしないように注意してください。万一、骨折等を

この生活リズムに順応できずに、辞めていってしまう方もおられます。そうならないためにも、今までの生活を少しでも改善しておくことをお勧めします。



山梨地本は、1月22日（水）「第6回協力者との自衛隊勉強会」を開催し、各協力団体の会員の方々をはじめ、45名が参加しました。

第一部は、山梨地本募集課長が「年度末募集に関してのお願い事項」と題し、今年度の募集目標達成に向けた最後のひと押しを行うにあたり、各協力団体の方々へ自衛官候補生試験のPR、募集対象者情報の提供などの協力をお願いしました。

続いて第二部は、東京工科大学教授落合浩太郎先生を講師にお招きし、「中朝露の展望」と題し、日本を取り巻く三国の国情と、今

後の展望等について、様々な実例を挙げながら分かりやすくお話ししていただきました。

本勉強会は、各協力団体の会員の方々を対象に、「防衛省・自衛隊の取り組み」と「募集の現況」を理解していただくことを目的とし、期毎に部内講師による講話を実施しておりますが、今回は視点を替え、部外講師を招聘して実施しました。

来年度も、陸海空各部隊長をはじめ、各界から幅広く講師をお招きして勉強会を開催する予定ですので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

山梨地本は、今後も協力者の方々と一丸となって目標達成に向けて全力で取り組んで参ります。

自衛隊山梨地本便り

(発行) 自衛隊山梨地方協力本部
募集課広報班
山梨県甲府市丸の内1-1-18
甲府合同庁舎
055-253-1591

山梨チホン
twitter



Instagram



第6回協力者との自衛隊勉強会開催



山梨地本は、今後も協力者の方々と一丸となって目標達成に向けて全力で取り組んで参ります。

受付開始 現在受付中の種目

一般幹部候補生
平和を創るリーダーを目指す！

- 応募区分：一般・飛行・歯科・薬剤
- 資格：22歳以上26歳未満の男女
修了課程修了者等は28歳未満
- 受付期間：3月1日（日）～5月1日（金）
- 1次試験日：5月9日（土）

一般曹候補生
部隊の中核となる自衛官を目指す！

- 資格：22歳以上33歳未満の男女
- 受付期間：3月1日（日）～5月15日（金）
- 1次試験日：5月23日（土）

自衛官候補生
将来のキャリアアップを目指す！

- 資格：18歳以上33歳未満の男女
- 受付期間：試験日の1週間前まで
- 1次試験日：3月7日（土）

※4月から国家公務員になる最後のチャンス!!

予備自衛官補
予備自衛官の資格を目指す！

- 応募区分：一般及び技能
- 資格：18歳以上の男女
- 受付期間：1月6日（月）～4月10日（金）
- 試験日：4月18日（土）～22日（水）
（いずれか1日）



女性自衛官教育隊研修を実施



山梨地本は、1月20日（月）及び21日（火）の2日間、朝霞駐屯地女性自衛官教育隊で行われた部隊研修に入隊予定者とそのご家族を引率しました。

研修内容は、女性自衛官教育隊の概要説明のほか、食堂での食事体験、生活隊舎及び教室での授業風景の見学、入隊から卒業までを紹介したDVD鑑賞でした。

食堂での食事では、朝霞駐屯地で勤務している隊員を前にして、少し緊張した様子でしたが、美味しく食べてボリュームがある食事にとっても満足しているようでした。生活隊舎の見学では、部屋の整理整頓やベッドメイキングが綺麗に仕上がっているのを見て驚いている様子で、春から始まる新生活をイメージアップしていました。ご家族の方々は、DVD鑑賞の、特に卒業式のシーンをみて、3か月の教育でここまで立派に成長するのかと、感動していました。

山梨地本では、今後も入隊予定者が安心して入隊していただけるようなサポートをして参ります。



自衛隊山梨地本便り

【発行】
自衛隊山梨地方協力本部
募集課広報班
山梨県甲府市丸の内1-1-18
甲府合同庁舎
055-253-1591



定年退職予定隊員のインターンシップ

山梨地本は、1月17日（金）・21日（火）・27日（月）の三日間、定年退職予定隊員の、インターンシップを実施しました。これは、再就職する隊員が業種・職種への理解を深め、企業で働くイメージをつかむことを目的としたものです。

今回は、株式会社イカイ（静岡県沼津市）、宮下板金工業株式会社（富士吉田市）、富士急バス株式会社（富士河口湖町）の3社にご協力いただき、7名の隊員が各種業務を体験しました。

まず初めに、各企業の会社概要や事業内容について説明を聞いた後、現場に赴き、実際の業務を見学したり体験したりしました。

参加した隊員は、「同口を揃えて「いつもと違う民間企業の雰囲気や職種を知ることができ、また実際の業務を体験することで、民間企業の

予備自衛官五日間訓練

山梨地本は、1月17日（金）から21日（火）までの間、第一特科隊第一中隊が担当した令和元年度第五回予備自衛官五日間訓練に34名の予備自衛官を招集しました。

訓練初日は、第一特科隊副隊長による精神教育が行われ、予備自衛官の重要な役割を改めて認識してもらったとともに、基本教練、武器訓練等を実施し練度の維持を図りました。

初日の夜から雪が降り始め、二日目の射撃は、雪が降りしきる中、屋外射場で訓練となりました。射撃訓練に参加した予備自衛官は、「とにかく寒かった。雪煙の目が見えにくく今まで一番大変な訓練でした。」と感想を述べていました。三日目は、綺麗に晴れわたり、雪化粧して美しく輝く富士山を背に大砲（FH-70）の操作訓練を行いました。

なお、四日目は、新宅本部長が訓練の状況を視察しました。武器を分解して手入れをしている状況、積雪の中で野外訓練を行う様子を確認しました。

今回の永年勤続表彰式では、三十年勤続者に対して防衛大臣、十年勤続者に対し東部方面総監、五年勤続者に対し山梨地本協力本部長からそ



山梨地本は、1月17日（金）から21日（火）までの間、第一特科隊第一中隊が担当した令和元年度第五回予備自衛官五日間訓練に34名の予備自衛官を招集しました。

「去年の台風被害の災害派遣には予備自衛官も招集されており、予備自衛官は今や、存在する時代から運用される時代へと変わってきています。今後は招集される機会が増えると思えます。仕事との両立が大変であることは十分承知しておりますが、引き続き訓練参加及び継続をお願いいたします。」と予備自衛官の重要性を述べました。

山梨地本は今後も、招集訓練部隊及び予備自衛官との綿密な連絡・調整を行い、訓練参加率の向上に努めるとともに、即応予備自衛官の募集広報等を実施して参ります。

防災専門官のお仕事について

退職した翌日から、山中湖村役場において防災専門官として勤務しています。

8月末に就職して日は浅いのですが、すぐに台風15号（9月）、19号（10月）など災害への対応や県主催の国民保護実動訓練（11月）に参加したり、充実した日々を過ごしています。

今まで勤務してきた所見としては、防災の仕事は自衛官時と共通点も多く、感覚的にはあまり変わらないと思います。いつも天気や地震を気にして、警報など出れば登庁・待機し、関係者と調整して対応する。対象と相手は違っても、やっていることはあまり変わりません。

したがって、自衛官として普通に行ってきた人は違和感なく勤務できると思います。

また、自衛隊で身につけた幕僚職の思考過程、体力・気力、事故対応など多くのことが役立っています。

山中湖村は、30数年前、防衛大学校学生の時、一般大学生のテニス合宿など眺めながら、徒步行進訓練で歩いた思い出のある憧れの村です。

自衛官OBの活躍を紹介します

現在、職場の雰囲気は良く、みなさん紳士的です。

このような所で意義のある仕事ができることの幸せをかみしめつつ、健康と体力・気力と環境が許す限りここで勤務したいと思っています。

山梨県南都留郡山中湖村
防災専門官
本多 秀行
(元2等陸佐)

令和元年8月 富士学校管理部
教材課長にて定年退職し現職

